



鏡石町立第一小学校 学校経営ブランドデザイン

教育目標

社会の変化に対応し得る、心身ともにたくましく、人間性豊かな実践力のある児童の育成

児童の実態

- 素直で明るく、積極性・社会性がある。
- 目標を持って努力している。
- 誰にでも協力的な態度である。
- 集団生活でのリーダー性に欠ける。
- 自分の考えを伝えることが苦手である。

家庭・地域・関係機関との連携

- ① 町教育支援事業による人材活用
- ② 「スクールサポーター」「安全協会」「交通安全母の会」の協力
- ③ 家庭・民生児童委員・町健康福祉課・児童相談所・ssw 等との連携
- ④ 町学校応援団の活用
- ⑤ 図書ボランティア・町図書館との連携

めざす児童像

- 進んで学習する子ども
- 健康で明るくたくましい子ども
- 正しく判断し行動する子ども

みんなでまなぶ

げんきなところとからだ

よりよいこうどう

重点事項

- 協働的な学び、主体的・対話的で深い学びを実現する。
- 体力の向上を図り、健康・安全・食育に対する意識を高める。
- 多様な教育活動を通して、善悪の判断力を高める。

鏡石町の教師 10 の姿

(町教育委員会)

- 1 与えられた仕事を、心をこめてやり遂げる教師
- 2 本物のプロとして実践できる教師
難しいことを易しく、易しいことを深く、深いことを楽しく
- 3 自分自身が高まろうとする教師
何事も粘り強く、最善を尽くし自分を高めようとする
- 4 あたりまえのことをあたりまえにする教師
チャイムで授業開始、チャイムで授業終了、授業が勝負
- 5 「けど」と言われる教師
人間として幅広く、児童に言い切られない教師
- 6 行動することができる教師 (チャレンジする教師)
- 7 愛情あふれる教師 (子どもたちのために全力で)
- 8 あこがれの存在である教師 (教師も教育環境の一つ)
- 9 安心・安全、健康を大事にする教師
- 10 四季の心を持って日々活動する教師
温かい心で接する、情熱的に行動、澄み切った心で考え、厳しく自戒できる

インクルーシブ教育の理念に基づく具体的実践事項

進んで学習する子ども

- ① 朝の時間を有効に活用し、読書を定着させ、漢字力や計算力の向上を図ります。
- ② メディアコントロールチャレンジ (電子メディア規制) に取り組ませ、自己管理能力を育みます。
- ③ 自ら考え、考えを交流し学びを深めます。
 - ・協働的な学び及び家庭学習の定着
 - ・実生活への活用、課題解決学習、体験的な学習に積極的に取り組み、思考力・判断力・表現力の育成
 - ・対話的な学習で学ぶ喜びを感じる授業の実現
- ④ タブレット学習を充実し、一人一人の力を伸ばします。
- ⑤ 現職教育を充実させ、互見授業を積極的に進めていくことで、学習の指導力向上に努めます。
- ⑥ 外部講師を招き、多様な教育活動を展開します。

健康で明るくたくましい子ども

- ① 息を切らす、汗をかく、技ができる経験をさせ、運動する楽しさ、喜びを味わわせます。
- ② 鏡石町ロードレース参加、なわとび記録会に向けて計画的、継続的に取り組ませ、一人一人の記録を向上させます。
 - ・体力づくりカードの活用
- ③ 体力・運動能力の実態から、体育の時間に工夫した運動身体作りプログラムを取り入れ、体力の向上に努めます。
- ④ 感染症の予防として、マスク・手洗いの励行に重点を置き、健康的な生活を送る能力・態度を育成します。
- ⑤ 家庭との連携を図り、早寝、早起き、朝ごはんなど正しい食生活習慣を身につけさせます。
- ⑥ 事故や不審者から自分の身を守る指導の徹底を図ります。
 - ・様々な事故や災害に関する知識の理解
 - ・危険予測能力の向上

正しく判断し行動する子ども

- ① 学校のきまり、学級のきまりをきちんと守れるように指導します。
- ② あいさつや正しい言葉遣いがきちんとできるよう繰り返し指導します。
- ③ 思いやりの心をもって、お互いに助け合う集団の育成に努め、いじめ未解消 0 にします。
 - ・係活動、委員会活動、学校行事に積極的に参加
 - ・責任あるリーダーの育成
- ④ 一人一人に役割や存在感がある学級、一人一人の良さが学級の中で認められる学級をつくります。
- ⑤ 道徳教育をとおして、SNS 等での善悪の判断力を身につけさせます。
- ⑥ 欠席状況から、個に応じた的確かつ速やかな対応に心がけ、家庭との連携を図ります。

○鏡石町キャリア教育の推進 ○鏡石町子どものパワーアップ大作戦 ○開かれた学校づくり (各種たよりの発行、学校ホームページの充実、一斉メール配信の活用、「来て、見て、一小」の実践)
○特別支援教育の充実 ○地域の人材活用及び大学との連携 ○保護者との連携 ○校務分掌組織の活用 ○学年主任・校務分掌主任のリーダーシップ ○学年及び隣接学年の連携 ○関係機関との連携 ○報告・連絡・相談の徹底 ○学校事故の防止 ○不祥事の防止 ○服務・勤務の厳正化 ○適切な会計事務執行 ○的確な文書処理 ○児童と触れ合う時間の確保